

平成29年度教育学部学生モニター会議（会議実施日：平成29年12月14日）		
学生の要望等	各部署の回答	その後の対応等の追記
1	<p>（教育コーディネーター） 時間割の組み方の原則（必修にあたることを固定化してから、それらを除いたところから各コース・専修のところで時間割を組んでゆくの）が前提となっているから、教員免許取得を義務化していないコースについては、必修が重なるということが起こりうる可能性がある。コースのところでご検討いただくようお願い。（造形芸術コース教員） 例えばどのくらい必修の取りこぼしがあって、何人が等、具体的な情報を該当教科教務委員にいただけたら、教務委員会を経た対応が可能だと思われる。</p> <p>（人間社会デザインコース教員） 具体的な情報をいただいて、教務委員の先生と相談させていただきながら、教室の会議で具体的に改善できるところは改善していきたいと考えております。</p> <p>（学部長） 単位履修が難しくなっている件について、具体的なところは、コースでの対応をお願いしたい。教育学部改組の過渡期にあたることもあり、専門科目について、総合人間形成課程のすべてのコースで起こる可能性のある案件である。今年度のうちに、学生も当該教室の教員も双方が、開講が必要な科目について綿密な連絡と確認をして、必要がある場合は早急な対応をお願いしたい。</p>	
2	<p>（教育支援課） 総合人間形成課程の場合、必要単位をそろえても特別支援教育の免許が取得できないということではなく、卒業と同時に免許をお渡しすることはできないが、卒業後、個人で申請する場合は、必要単位・実習等の条件をクリアしていれば、免許取得は可能となっている。（特別支援教育教員養成課程以外の学生が特別支援教育の免許取得を希望する場合は、特別支援教育の先生にご相談してからと</p>	
3	<p>（実習カリキュラム委員長） 実践省察研究の授業観察で人数が多かったという問題は把握できていて、観察実習の実施回数を減らすなどして、一つの授業当たりの観察者が多くなりすぎないように、来年に向けて具体的な改善策を現在、検討中である。</p>	（実習カリキュラム委員長） 一人当たりの観察実習の回数を、今年度までの3回から来年度は2回に減らすことを決定している。
4	<p>（社会科教育教員） 教室としても、転出された教員の科目については、集中講義のような形で開講したいと考えているが、予算の問題があり、隔年での開講を試みるなどして取り組んでいるところである。ただし、必修や選択必修については極力保証す</p>	
5	<p>（学部長） 応用実習は9月に入ってから公立学校で実施される。教員採用試験は7月下旬に一次、8月下旬に合否発表、9月上旬に2次試験、多くの場合、9月の2次試験が終わってから応用実習に入るケースが多いと思われる。ただすべての自治体の教員採用試験の二次試験が終了しているかどうかはわからないが、</p> <p>（学生・就職委員長） 応用実習と教授二次試験が重なるのは非常にまれな例であり、基本的には重ならないと思われる。実際に重なった事例について、学校名とか実習期間とか具体的な情報をいただくと追跡調査も可能かと思われるので、ぜひ具体的な情報をいただけたらと思う。</p>	
6	<p>（教育コーディネーター） 教育学部の1・4年次・院生が全学と同じ授業日程だが、2年次ではブレ教育実習等が、3年次では教育実習等があり、その時期に授業を実施することはできないので、ずらして独自の授業実施をせざるを得ない。ただ、後期は16週ではなく、単位を出せるギリギリの回数である15週で実施をするなどしている。</p> <p>（学生就職委員長）（ちなみに）エントリーシート対策と自己PR対策講座を毎年1月中旬頃に実施していますので、ここを出発点としていただいて早めに準備をし、リフレクション・デイを受けて、3月1日に就活突入していただけるような予定には組んでいますので、ぜひご活用いただけたらと思う。</p>	
7	<p>（事務課総務チーム） わかりました。</p>	

8	<p>何年前の先輩のゴミ箱の使い方に問題があったことからゴミ箱が撤去されたと聞いたが、再度、試験的にゴミ箱を設置していただき、その上で問題があった場合は撤去する、という形での試行をお願いしたい。</p> <p>他学部では、ゴミ箱やその片付けはどのようにになっているのでしょうか？教育学部でも他学部と同様にできませんか？</p>	<p>(学部長) 大学というのは、ごみは分別が大変である。ゴミ箱だけでも、一か所に少なくとも5種類は置くことになる。分別の種類は、もっと多種になる。それを学生のみなさんがちゃんと分別してごみを入れてくれるかどうか、さらに、分別ができてなかった場合、分別作業を誰がするのかについて、学生のみなさんと話し合いをできるのか？という意味合いを含めて、昨年度はお話した。</p> <p>ゴミ箱が置かれていたときは、愛グリーンの方々(※附属特別支援学校の卒業生が従事している)が2号館1階ロビーに大きなブルーシートを敷いて、分別できていない山積みのゴミをすべて広げて、ペットボトルのラベルはがしなど、すべての分別作業をしており、そのような場面を見てきたので、教育上のことも踏まえ、学生の皆さんが社会に出たときにゴミの分別ができる人になるように、という一種の教育的配慮の意味合いを含めて「ゴミ箱を置かない」という措置にしている。学生のみなさんから、自分たちでゴミの片付けをするという覚悟や、当番についても考えるといった、責任を担う準備ができたときには、ゴミ箱を設置してもいいと考えている。他学部では置いているゴミ箱の片付けは、外注の掃除業者が行っているようである。教育学部では、愛グリーン(※附属特別支援学校の卒業生が従事している)に清掃業務をお願いしている。その方々にさらなる業務の負担をかけることはできないと考えている。</p>	
9	<p>22時退出を求められるのが教育学部だけであることや、教育実習中であれば、その都度、申請をすれば、22時以降も許可が得られることを聞いたが、実験等の都合で毎回申請を出すのが大変であること、教育実習中に早朝、大学に行くこと自体が大変であることや、自分の場合は早朝から活動すると体力切れしてしまうことがあり、24時くらいまでの入棟許可がほしい。</p>	<p>(学生就職委員長) 大学教員も附属の先生方も、教育実習中の学生の遅い時間帯の活動について心配しており、いい体調で教育実習に取り組んでもらうことを切に望んでいる。また、健康上の配慮という考えも含め、教育実習において、22時までに終わるようなスケジューリングを構築することを身につけてほしいと考えている。夜間の学部棟は治安上の問題もあり、例えば問題が起こった時に、すぐに助けに行けない教室も多い。かつてそういった事象も実際に発生したということもあり、現在の22時退</p>	<p>(学部長) 22時以降の開放について、城北地区においては工学部以外、教育学部と同じで22時以降は原則開放していない。</p>
10	<p>床に消しカスを落とさずに済むので、各講義室に消しゴムのカス入れがあるといいと思う。</p>	<p>(学部長・事務課総務チーム) なるべく早く設置する。すでに準備にとりかかっている。</p>	<p>(事務課総務チーム)各講義室に設置しました。</p>
11	<p>2号館の教室のドアのたてつけがわるく、勝手にドアが開くので、その都度、閉めに行ったり、逆に開かないことなどがある。机も凸凹していて、その部分では物が書きにくい場合がある。大講義室の椅子で、倒れたまま元に戻らないところがある。不便を感じる人が多いので直していただきたい。</p>	<p>(学部長) 2号館のドアのたてつけに関連して、小サブ2年生の部屋でも、ドアのガラスがガタガタしていたり、縁がゆるくなっている例もみられたので、具体的にどの教室、とか大講義室のどのあたりの椅子かなど、具体的な情報をいただけたら、なるべく対応する方向でいきたいと考えている。</p>	
12	<p>以前にあったリフレクションルームが今はなくなってしまい、昼食や話し合いができる部屋がなくなっている。食堂がいっぱいであったり、一般講義室は「飲食禁止」の張り紙があり、困ることがあるので、昼休みに時間がないときなどのために、昼食の部屋について配慮をいただけるとありがたい。</p>	<p>(教育学教員) 教育学専修の学生だけの問題であるならば、教育学演習室で昼時間に空いているところがあるので、昼食については、そちらを使用してもらえたらと思う。ただこれは学部全体にかかわる問題であると思われる。教室でそのまま昼食を食べたいという声はよく聞かれるが、その際、食べた後のゴミを机などに突っ込まれていることがあり、各講義室は「飲食禁止」となっている。必ずゴミを持ち帰ってもらうという契約をもらった上で、一部教室を開放することも検討する必要があるかと</p> <p>(副学部長) 3年生以上であれば、各研究室配属先の学生合研などを活用してもらうことになるかと思う。一部教室の開放を考えるにあたっては、一般講義室では昼食ゴミ放置問題があり、愛グリーンの方々が一つ一つ片付けており、負担を負っていたという現実がある。将来的にこの件で教室を割り当てるかどうかは、ルール・モラルを守っていただけるかどうかという問題もあるが、大至急、検討してみたいと考える。</p>	
13	<p>保健体育の学生合同研究室にPCがなくて不便を感じている。他専修では学生合研にPCがある例もあるようなので、入れていただきたい。</p>	<p>(学部長) 学生合同研究室のPCは、基本的に、その講座の教員の学生教育の研究費を使って、購入されているので、保健体育講座の先生に、PC購入についてをお願いをしてみたい。</p>	
14	<p>国語の学生合研に幼年の留学生と一緒に入っているが、PCが中国語仕様になってしまっており、困っている</p>	<p>(副学部長) 留学生に、日本語に切り替えてもらってから帰るようをお願いするか、留学生に、日本語切り替えについてメモ書きを残してもらうか、国語教育の先生に、留学生用のPCを1台購入してもらえるようをお願いするかを聞いてみたい。</p>	
15	<p>換気の際に窓を開けると、裏手に川がある位置関係からも、虫が非常に多く、よく入ってくる。網戸をつけていただけるとありがたい。</p>	<p>(学部長・事務課総務チーム) 以前に付けたことがあったが、虫は夏から秋にかけては付けなかった。しかし、他の虫もいるし対策は必要かと思う。ただ、2号館は改修工事を予定しているため、それまでに大きな変更はできない。しかし、不便であるという意見が多かったので、実現は難しいかもしれないが、5月頃を目途に対策を考える。</p>	
16	<p>大講義室の椅子や机のいたみがひどい(椅子のバネ機構、机の凸凹等)</p>	<p>(学部長) 大講義室は教育学部の管理ではないので、大学当局(共通教育チームか?)に調査を依頼する。</p>	

17	教職大学院の集中講義等の情報を、専攻の掲示板だけでなくHPにも掲載してほしい	(教育コーディネーター) 基本的な全ての情報を図書館前の掲示板と、修学支援システムに掲載している。こまめにチェックをして欲しい。 (副学部長) おそらく、変則的な集中の連絡が遅れることがあるのだと思う。それに関しては、担当にそういうことがないように伝えて対応する。	
18	2号館のWi-Fi環境が悪い。改善できないか。	(学部長) 確かによくない。私の研究室もつながりにくい。教室に近い所にアクセス・ポイントが配置されているので、教室から離れた部屋はつながりにくいのだと思う。ただ、これはメディアセンターの管轄なので教育学部としてはどうしようもない。全学の学生代表者会議で提案してほしい。	
19	屋根のある駐輪場が少ない。もっと増やして欲しい。	(学部長) これも毎年あがる問題である。全学の施設マネジメント委員会でも、「工学部周辺の駐輪場は屋根付きなのに、教育学部の前の駐輪場には屋根がなく不公平だ」と主張しているが、「教育学部前の駐輪場は全学のイベントスペースなので屋根がつけられない。」「2号館裏の空きスペースも近々再開発の予定があるので屋根はつけられない。」との回答である。難しいが改善の要求は (副学部長) 工学部周辺の駐輪場もどんどん利用したらいいのではないか。	
20	教育実習の組研の後の研究協議会の在り方について。自分たちは全力で最善の授業をしようと取り組んできたので、あまり問題点や改善点が思いつかなかた。しかし、時間が余ってしまったので。無理に問題点を指摘している内に、大学教員から「なんでそんなに問題が多いんだ」と叱られてしまい、腹が立った。	(学部長) 附属学校から「大学教員の指摘が厳しすぎる」という意見は聞いていて、教授会でも教員へ「一回の授業だけで厳しい評価をせず、全体をみた成長を認めてほしい」という注意をした。 (副学部長) 中学校はいつものメンバーでやるので時間があまりすぎて、そうなるのかもしれない。小学校実習ではむしろ時間が足りないという声が多い。中学校の場合は時間をもっと短くするなどの現実的な対応も考えられる。	
21	特別支援の院生室の印刷機が、PCからしか印刷できない。また、教員からメールで送られてくる授業資料にカラーでないと分かりにくいものがある。カラーコピー機を置いて欲しい。	(特別支援教員) 現在、白黒印刷のトナーは教員の研究費から提供しているが、それでも高額であり、カラーはコスト的に無理と考えている。インクジェット・プリンターなら検討の余地があるかもしれない。 (副学部長) 全体から考えると、(白黒でも印刷できるのは)特別支援の院生は恵まれていると思う。 (音楽教育教員) 音楽では機械を置くだけにして、消耗品は学生に自主管理させている。 (学部長) その程度の対応が適切ではないかと思う。	
22	西門のゲートで、ゲートが高すぎて自分の自転車が通れないという人がいる。	回答なし	(事務課総務チーム) ご意見を本部担当部署に伝えました。なお、「通行できない」という自転車が具体的にどのような状態なのかが分かりませんが、実際の通行状況を確認してもらったところ、ほとんどの自転車が特に問題なく通行できていること、改修には多大な経費がかかることなどから、現時点では改修は考えていないとのことでした。もし特殊な事情等がありましたらまたご意見をお寄せください。
23	教育実習の組研に来た小サブコースの学生の見学態度が悪い。茶髪や、姿勢が悪い人が複数いて、授業をしていて気になった。附属教員や生徒からも指摘があった。事前指導などでもっと厳しく指導して欲しい。	(実習カリキュラム委員長) そのような学生がいたことを、私も認識している。事前指導が不十分だったことを、実習生のみなさんにお詫びしたい。例年なみの指導はしているつもりがだが、上手くいかなかった学生がいたようだ。来年は本人も本実習に行くはずなので、事前指導を改善するようにする。 (副学部長) 附属の対応にも問題があるかもしれない。そういう場合はすぐに指摘して欲しい。茶髪に関しては附属小では許可していた時期もあった。また、元々の毛色が茶色の場合もある。その場合は、黒く染めさせるのも最近問題に	
24	サッカー部が全国大会に出場したが、公欠が認められず、共通教育のクォーター制の授業で単位が取れなかった学生がいた(本試験、追試験の間隔が短く、両方受験できなかった。せっかく大学の名前で出場したのに残念な気がした。教育学部の授業ではないが、なんとかならないのか。	(教育コーディネーター) 本来、愛媛大学には公欠制度は存在しない。単位取得と出席時間の原則は基本的には変えられない。部活を取るか授業を取るかはある程度は自己責任である。その上で、大学に要望を出すことは可能かもしれない。意見が出ないと変わらないのではないかと、教育学部には柔軟に対応している先生もいる。ただし、共通教育については色々な先生がいるし、クォーター制なのでの制約が多いのは確かである。その厳しさを知るのも大事かもしれない。 (副学部長) 複数そういう学生がいるなら、共通教育センターに配慮依頼を出してみるもよいのではないかと。声が集積することが大切それによって不利益をこうむることはない。	